

1 基本情報

事業名称	中区文化のつどい事業				
事業目的	文化サークルの発表の場を通して、地域コミュニティの活性化を図るとともに、行政と地域が協働して文化芸術を振興することにより、文化に親しみ、文化を大切に する地域社会の実現を目的とする。				
事業概要	演技の部：ソフィア・堺 ホールでのステージ発表 展示の部：ソフィア・堺 ギャラリーでの作品展示				
実施主体	中区ふれあい事業推進委員会 (中区文化のつどい実行委員会)	実施場所	ソフィア・堺	実施時期	演技の部：令和8年3月14日（土） 展示の部：令和8年3月14日（土）、15日（日）

2 設定指標

活動指標	参加サークル数		R4	R5	R6	R7
		目標	43サークル	33サークル	37サークル	37サークル
		実績	33サークル	35サークル	37サークル	32サークル
成果指標	堺市は文化・芸術活動をしやすい都市だと思いますか。 (市民意識調査において「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した中区民の割合)		R4	R5	R6	R7
		目標	-	-	-	44.2%
		実績	32.6%	38.1%	35.5%	40.4%

3 事業評価

決算額		2,229,082 円			
①妥当性	○	②費用対効果	○	⑤総合評価	○
中区で活動する文化サークルにとって貴重な発表の機会であり、サークル間の交流を通じて地域コミュニティの活性化や伝統文化の継承にも寄与している。また、行政と地域が共催することで、公平性と地域主体の運営が両立されており、事業を実施する妥当性が高い。		経費の大半は施設利用料などの固定費が占め、大幅なコスト削減が困難な中、参加サークルから費用を徴収して公金以外の収入を確保し、また、運営面では行政と参加サークルが連携して役割分担を行うなど、経費削減に取り組んでいる。 限られた予算の中で区内施設を活用し約900名を集客しており、費用対効果が高い。		本事業は、「文化サークルの発表の場を通じて地域コミュニティを活性化し、行政と地域が協働して文化芸術を振興することで、文化を大切に する地域社会の実現を図る」という目的に沿って着実に実施することができた。 中区地域計画にも合致した公益性の高い取組として位置づけられ、地域との協働により効率的な運営を図った。また、限られた予算の中で経費削減に努めながら効果的に事業を進めることができた。 以上のことから、本事業は区民利益につながる有効な事業である。	◎：非常に高い水準で達成 ○：十分な水準で達成 △：達成度が限定的 ×：達成されていない －：評価対象外
③庁内・公民等連携	○	④区の計画への寄与度	○		
参加サークルで構成される実行委員会が企画内容を話し合い、当日の運営も行政と参加サークルが協力して行っている。 地域の団体が主体的に関わりながら、行政と役割を分担して進めており、公民連携が図られているため、連携の度合いが高い。		身近な場で文化や芸術に触れ、サークル活動を通じて交流を深める機会を提供していることから、計画における「文化活動を通じたつながりの輪の構築」の取組に寄与している。			

4 課題と対応方針及び今後の方向性

課題	参加サークル数の拡大及び来場者数の増加。	今後の方向性	継続
対応方針	参加サークル数の拡大に向け、SNS等を活用した情報発信に加え、地域内での声かけを強化する。また、会場施設の管理者と連携し、日頃から施設を利用する団体への働きかけを充実させ、新規サークルの参入につなげる。さらに、来場者数の増加に向け、多くの世代に関心を持ってもらえるよう、企画内容について改善の方向性を検討する。		